

# 高砂市スポーツ推進計画検討会議 委員意見

(資料3)

事務局で分類作成

項目	現 状	課 題	検討事項 (方策)
1	子どものスポーツ お金を出してでも学びたい子、親も増えている。	ゲームをして、外へ出ない。 競技性が強いが、全くスポーツをしない者もいる。	<p>スポーツの普及は子どものときから楽しむ。 小学校の役割大きい。 小学校時代の子ども達にスポーツを楽しむ機会を与える。 小学校低学年からスポーツに楽しむ、親しむ。 走り方、投げ方、蹴り方などの基礎を学ぶ。 足腰を鍛える。 野外活動、音楽、図工等しながら外へ引っ張り出して楽しむ。</p>
2	成人のスポーツ	<p>素人がスポーツを始めるのは大変 経験者もやめてから再開するのも大変 健康増進事業で成果を上げても終わると効果が落ちてしまう</p>	<p>何かきっかけがあれば運動する。 支えるかかわり方 親子教室 ラジオ体操の復活など身近な体力づくりから始める。</p>

項目		現状	課題	検討事項（方策）
3	高齢者のスポーツ		<p>高齢者に対してスポーツをどう考えるか。</p> <p>健康増進事業で成果を上げて終わると効果が落ちてしまう</p> <p>生涯スポーツをいかに楽しむようにするか。</p> <p>教室を休みなく来れる環境づくり</p>	<p>生涯にわたってスポーツ活動ができるように</p> <p>高齢者ができるようにする受け皿づくり</p> <p>生きがいを感じてスポーツをする</p> <p>健康づくり</p>
4	障害者のスポーツ	<p>障害者の環境</p> <p>屋根付の駐車場がない。雨が降ると、車椅子ではキャンセルしないといけない。</p>	<p>車椅子での施設利用の制限</p> <p>車椅子の安全性</p>	<p>車椅子授業の要望</p> <p>パラリンピックを目指す。</p> <p>障害者スポーツの楽しみ</p> <p>プロの選手による安心できる指導</p>
5	環境づくり	<p>（情報）</p> <p>スポーツの啓発が大事</p> <p>どこで何をしているか情報</p>	<p>どこでどんなスポーツが開催されているのか情報が入ってこない</p> <p>情報発信できる場所 広報活動</p> <p>ネット予約の周知</p>	<p>拠点の情報発信</p> <p>高砂マラソンで競技場にブースを作って紹介する日とする。</p>
		<p>高砂市は住みたいまちを活かす</p> <p>一緒に頑張る地域性有り</p>	<p>同じメンバーになってしまう</p> <p>交流がない</p>	<p>必ずスポーツをしている、見にいける場所をつくる</p> <p>動員型の事業を新しいバージョンで復活</p> <p>入りやすい受け皿づくりのメニュー</p>

項目		現 状	課 題	検討事項（方策）
		（無料） 無料に慣れすぎている 税金を使うな お金を使いたくない	無料が当たり前で、受益者負担の観 念がない。	半分は個人負担にしているところもある。 ウォーキング。 予防医学として、病院と連携して何かできないか。
		（施設） 施設、グラウンドが少な い。 市の予算ない。	施設の老朽化 施設整備ができていない。 競技スポーツの場所がない。 スポーツ振興に企業が協力的でな い。	大企業に開放してもらおう。 企業と連携して使う。 他市の施設を利用する。 効率よく施設を使う。 ナイター設備 浜風駅伝
		（イベント）	みんなが連携を持って、楽しい、す ばらしいスポーツを通じての地域づ くりができるように	こどもから高齢者、障害者まで含めたスポーツレク リエーション大会 横のつながり、連携というものを持って市を盛り上 げる。 市民スポーツカーニバル。体験してもらおう。
6	人づくり	スポーツをするのが人ま かせ	目標をもって継続できるよう	しっかりした自分をつくる。 お互い助け合いながら、技を磨いて、勝のではなく、 うまくなってよかったと思える人を増やしたい。 競技スポーツと健康と2本立てでいく いつでも、どこでも、だれでもできるスポーツから 競技スポーツまで選択できる。

項 目	現 状	課 題	検討事項（方策）
		<p>運動をする底辺を広げる。          運動=つらい、苦しいイメージの払拭          モチベーションを上げる手段を考える。</p>	<p>本物を体験させる。          体力測定          まず運動する第1歩を進めていく。          スポーツが苦手な人に機会を与える          スポーツを通じて健康増進。健康的、競技的にも。          まず一歩踏み出す雰囲気づくり。きっかけづくり          生きがいを感じてスポーツをする機会を与える。          継続する仕組み</p>
	<p>(指導者)          オリンピック選手が生まれる環境にある。          競技スポーツでの指導者が多い           スポーツ理解者、協力者、地域性あり</p>	<p>指導者後継者の不足          小、中、高と一貫した指導者がいない。          指導する者、競技力のある人がどれだけいるか。           世話をする人が少ない</p>	<p>プロ選手によるスポーツ教室          専門家による指導          正しく指導する          地域でもって指導力、競技力を伸ばす。           世話する人が負担にならない、誰もが参加できて楽しくできる機会を与える          指導者が楽しみながら世話ができる仕組みづくり</p>

項目	現 状	課 題	検討事項（方策）
7	その他	<p>盛り上がったあと、日常にどうつなげていくか。</p> <p>どんなターゲットにどんな状態になって欲しいか。</p> <p>スポーツしている人、していない人にどう刺激を与えるか。</p> <p>指導的な形の位置づけ、道づくりが必要</p> <p>一番しない世代をどうするか。</p> <p>どう動いてほしいか。どういう子どもを育てたいか。</p> <p>数値目標</p> <p>どんな人がスポーツで喜んで、動いて欲しいか。</p>	